

## 第1回坂東PA関連事業に関する整備方針検討委員会（概要）

■日時：令和元年11月22日（金）9：30～11：00

■場所：坂東市役所 3階 大会議室

■出席者：委員

納口委員長・鈴木清副委員長・張替委員・後藤委員・石川委員・鈴木功委員・荒木委員・長妻委員・應本委員・平勢委員・野口委員・北島委員・山口委員・金久保委員・鈴木博委員・奥貫委員  
（欠席：永塚委員）

オブザーバー委員

開地委員・長谷川委員・橋本委員・赤羽委員・渡邊委員・桑名委員（代理：茨城県営業戦略部観光物産課 菊池補佐）・加藤委員・長山委員・高橋委員

市・事務局

木村市長（公務のため途中退席）・高橋都市整備課長・植本副参事・張替係長・小澤主幹・中山主幹

### ●委員長・副委員長選出

互選により、委員長を納口るり子委員、副委員長を鈴木清委員に決定。

### ●議事

#### （1）坂東PA関連事業について

##### ①計画地周辺の現状及び課題について

・坂東市内における「人口」、「防災」、「交通」、「情報発信・資源の活用」分野の現状と課題を整理した。

##### ②地域利便施設計画地の状況について

・「PAとの隣接」、「地域防災拠点」を計画地のポテンシャルとして整理した。

##### ③地域利便施設の方向性及び機能について

・現状と課題及び計画地のポテンシャルから、施設の方向性を「市内外から人を呼び込む施設」とした。

- ・施設のイメージは、ハイウェイオアシスに近いものである。
- ・導入機能については、「情報発信」、「防災」、「休憩機能」を柱に、その他の機能については今後の委員会にて継続して検討を行う。

## ●意見交換での主な内容

### 周辺状況について

- 圏央道菖蒲PAから江戸崎PAまでの約76km区間に休憩施設がないことから、坂東PAの需要は高く、地域利便施設を併設することで、そちらへの集客も見込まれる。

### 方向性について

- 地域利便施設は、上下線どちらのPAからも利用可能なものとしていく。
- PA側のトイレを地域利便施設側に集約することで、集客力向上が見込めるのではないか。
- ハイウェイオアシスの近隣事例としては、壬生PAや藤岡PAに連結している施設がある。
- 圏央道の4車線化が2022～2024年度に予定されており、地域利便施設についても同時期に一部機能の供用を目指して検討を進めていく。
- 桜の里山については、現在の桜を活かしながら、楽しめる施設の整備を検討していく。
- 地域利便施設の管理運営方法については、費用対効果等を踏まえ検討していく。

### 今後について

- 次回、ハイウェイオアシスについて事務局から説明する。
- 次回、東日本高速道路株式会社関東支社水戸工事事務所から、坂東PAの駐車台数等について示す予定である。
- 今年度中に整備方針を取りまとめ、地域利便施設の最終形を示す。

(以上)